

授業科目 NO. 210 疾病・治療論Ⅳ

: 脳・神経・運動器・感覚器系

Clinical Medicine IV

: Brain and Nervous, Locomotorium, and Sensory Systems

授業の形態 : 講義

単位数(時間数) : 2単位(30時間)

開講年次・学期 : 2年次・前期

必修・選択の別 : 必修

キーワード : 皮膚科、整形外科、神経系疾患、外科的治療、形成外科、歯科、耳鼻咽喉科

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

感覚器(眼、耳鼻咽喉、皮膚、歯・口腔外科)における疾病・障害を知ることがを目的に、病気の成り立ちと疾患の基礎知識を修得し、診断、検査、治療の基本を学ぶ。

脳・神経・運動器系疾患の臨床症状、診断、治療を理解し、脳・神経・運動器系の健康障害と人間の反応について学ぶ。主な疾患は、脳梗塞、脳出血、脳腫瘍、骨折、変形性関節症などである。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 皮膚科系疾患の病態生理、症状、検査、診断、治療法と予防法を理解できる (②)
- (2) 整形外科疾患についての基礎知識、治療法の概要および術前・術後管理を修得する (②)
- (3) 中枢神経系および末梢神経系疾患の病態生理、症状、検査、診断、治療法と予防法を理解できる。(②)
- (4) 形成外科系疾患の症状、病態生理、検査、診断、治療法を理解する。(②)
- (5) 歯科・口腔外科系疾患の病態生理、症状、検査、診断、治療法と予防法を理解できる。(②)
- (6) 耳鼻咽喉科疾患の病態生理、症状、検査、診断、治療法と予防法を理解できる (②)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	100%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

【内訳】

皮膚科：定期試験 14%

脳神経外科：定期試験 20%

眼科：定期試験 8%

耳鼻科：定期試験 16%

整形外科：定期試験 26%

歯科口腔外科：定期試験 8%

形成外科：定期試験 8%

5 教育担当者

科目責任者：尾山 武 (医科学)

教 授	中野 旬之 (顎口腔外科学)
教 授	林 康彦 (脳神経外科学)
教 授	志賀 英明 (耳鼻咽喉科学)
准 教 授	水戸 毅 (眼科学)
准 教 授	竹田 公信 (皮膚科学)
准 教 授	尾山 武 (医科学)
講 師	白神 俊祐 (脳神経外科学)
講 師	金子 貴芳 (形成外科学)
講 師	酒井 あや (耳鼻咽喉科学)
助 教	福 淳史 (整形外科)
助 教	三治 雄輔 (整形外科)
助 教	福井 信 (整形外科)
助 教	森本 建一 (整形外科)
助 教	宇野 豪洋 (脳神経外科学)

6 ナーシングガイド

助 教 伊藤 真夕 (在宅看護学)

※ナーシングガイドとは、疾病・治療論の初回授業時に、科目全体の構成および看護系科目との関連を、学生に10分程度で説明する役割を担う看護系教員のことをいう。

7 教 科 書

1) 小島 博己他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [14] 耳鼻咽喉、医学書院

8 推 薦 参 考 書

水戸 : 大鹿 哲郎他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [13] 眼、医学書院

中野 : 井桁 洋子他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [15] 歯・口腔、医学書院

志賀、酒井 : 系統看護学講座 耳鼻咽喉 成人看護学 14 : 医学書院

整形外科 : 標準整形外科学 医学書院

脳神経外科 : 系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経、医学書院

標準脳神経外科学 医学書院

金子 : 標準形成外科学 医学書院

竹田 : 清水宏 : あたらしい皮膚科学 第3版、中山書店、2018

多田 弥生他 (著) : 系統看護学講座 成人看護学 [12] 皮膚、医学書院

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。

尾山 : シラバスに掲載される講義資料に目を通しておくこと。

水戸 : シラバスに関してあらかじめ目を通しておくこと。

中野 : シラバスの資料をあらかじめ印刷し、目を通しておくこと。

志賀、酒井 : シラバスに掲載される講義資料に目を通しておくこと。

整形外科 : シラバスに掲載される講義資料に目を通しておくこと。

林 : シラバスに掲載される講義資料に目を通しておくこと。

金子 : シラバスに掲載される講義資料に目を通しておくこと。

竹田 : シラバスに掲載される講義資料をあらかじめ目を通しておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

水戸：最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

中野：最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

志賀、酒井：最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

整形外科：授業終了時に全体に対するフィードバックを行う。

林：授業終了時に全体に対するフィードバックを行う。

金子：授業終了時に全体に対するフィードバックを行う。

竹田：授業終了時に全体に対するフィードバックを行う。

11 履修上の注意事項

特になし。

12 オフィスアワー等

※担当教員へ質問等がある場合、事務課に連絡、相談した上で行動すること。

尾山：質問などは e-mail (oym@kanazawa-med.ac.jp) で受け付けます。

入室時間は e-mail などにて適宜相談します。

整形外科：医局（内 23214）までご連絡をお願いします。

脳神経外科：質問は e-mail (neuros@kanazawa-med.ac.jp) を使用して行ってください。

金子：質問等は書面にして看護学部事務課に提出してください。

中野：医局（内 27032）までご連絡をお願いします。

水戸：質問等ありましたら眼科医局 (ophthal@kanazawa-med.ac.jp) まで連絡下さい。

志賀、酒井：質問等ありましたら耳鼻咽喉科医局 (ent@kanazawa-med.ac.jp) まで連絡下さい。

竹田：医局（内 23324）までご連絡をお願いします。

第2学年 疾病・治療論Ⅳ：脳・神経・運動器・感覚器系

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月08日(火)	5	講義	イントロダクション(看護学における脳・神経・運動器・感覚器系疾患の位置づけと必要性)、脳・神経・運動器・感覚器系の構造と機能		医科学, 在宅看護学	尾山准教授, 伊藤助教
前	2	4月16日(水)	5	講義	眼科 眼科系疾患		眼科学	水戸准教授
前	3	5月07日(水)	5	講義	耳鼻咽喉科疾患1		耳鼻咽喉科学	酒井講師
前	4	5月09日(金)	4	講義	耳鼻咽喉科疾患2		耳鼻咽喉科学	志賀教授
前	5	6月06日(金)	3	講義	脳血管障害		脳神経外科学	白神講師
前	6	6月13日(金)	3	講義	脳腫瘍		脳神経外科学	林教授
前	7	6月20日(金)	3	講義	頭部外傷		脳神経外科学	宇野助教
前	8	5月08日(木)	5	講義	整形外科1: 診察と診断		整形外科科学	三治助教
前	9	5月15日(木)	5	講義	整形外科2: 神経症状と病態生理、骨粗鬆症		整形外科科学	森本助教
前	10	5月22日(木)	5	講義	整形外科3: 変形性関節症、関節外傷の診断と治療法		整形外科科学	福助教
前	11	6月05日(木)	5	講義	整形外科4: 骨折と外傷の治療法		整形外科科学	福井助教
前	12	4月17日(木)	5	講義	歯科・口腔外科の基礎と臨床、口腔ケアについて		顎口腔外科学	中野教授
前	13	6月17日(火)	4	講義	皮膚科 1		皮膚科	竹田准教授
前	14	6月24日(火)	4	講義	皮膚科 2		皮膚科	竹田准教授
前	15	6月09日(月)	5	講義	形成外科		形成外科学	金子講師